

第17回ひょうご女性未来・縹（はなだ）賞受賞者一覧

| 氏名・名称 | 受賞理由 |
|---|---|
| <p>おおつき きょうこ 大槻 恭子</p> <p>豊岡市</p>  | <p>看護師がもっと地域で役に立つことがあるのではないかと2015年に豊岡市日高町で2カ所目となる訪問看護事業所を設立。次いで2017年には古民家を改修し、但馬地域初の看護小規模多機能型居宅介護支援事業所を開業。「最後まで自宅にいたい人に看護、介護を提供し、介護する家族に安らぎを与える」活動に取り組み、地域の在宅医療・介護を支える存在となっている。また、2019年には事業所の敷地内にカフェを開業するなど、創意工夫をこらしている。起業後4年で就労者は市外からの若年移住者を含め42名となり、「若者が働きたい職場を増やす」ことにも貢献している。また、運営する法人では育児・介護等により時間制約がある職員が働きやすいよう短時間・少日数勤務の実施及び、このシステムを支えるタブレットの導入を行い、豊岡市ワークイノベーション戦略の先行事例となっているなど、今後の活躍がますます期待される。</p> |
| <p>まつざき みなこ 松崎 美奈子</p> <p>芦屋市</p>  | <p>アスリートをサポートする管理栄養士として働くなかで選手たちの夢に向けて必死に努力する姿を目の当たりにし、自らも成長するために、仕事を続けながら英語とダンスを勉強し、2015年に米プロフットボールリーグ（NFL）のチアリーダーに挑戦し、選抜される。未来をきり拓くチャレンジスピリットと惜しみない努力、そしてNFL選抜という素晴らしい実績は、新時代の女性のロールモデルとしてふさわしい輝きを放っている。また、チアスピリッツである「人を応援（サポート）すること」を原動力に、バスケットチームである西宮ストークスのキッズチアリーダーのチアスピリッツアドバイザー等も務めるとともに、スポーツをする子供たちに食育講座や料理教室を開いたり、メディア媒体を通じてジュニアアスリート向けのレシピを提供したりなど、チアと食を通じてネットワークを広げながら、地元兵庫県の社会貢献に尽力している。常に向上心を持ち、今後の更なる活躍が期待される。</p> |
| <p>ファンタジー号女性クルー</p> <p>神戸市</p>  | <p>「男社会」であった海運業界・船舶運航の現場で女性が働くことは大変まれな状況であった。平成19年、早駒運輸株式会社において観光船「ファンタジー号」を“女性クルー”中心として運航することを目標に、同社で初めての女性船長が採用され、現在5名の女性クルーを中心に運航を行っている。</p> <p>女性クルーたちは船舶の運航のみならず、定期的なイベントクルーズの企画・運営にも積極的に参加し、さらに船内でのカフェサービススタッフや受付業務なども担うことにより、利用者の満足度向上につなげている。</p> <p>この“女性クルーの活躍”が飛躍することで、海運業界・船舶運航が「男社会である」という先入観を取り去り他の「男社会」でも女性が活躍できるような環境が広がっていくことが期待される。</p> |

* 敬称略、個人、団体の50音順